

令和8年度 長岡京市南地域包括支援センター事業計画【案】

【基本理念】	【柱】	【めざす姿】	【令和8年度 包括目標】	【令和8年度 アクションプラン（行動計画）】
「いきいき・あんしん」のまちづくり	1. 高齢期を自分らしく暮らせている	健康づくりや介護予防ができる環境の中で主体的に取り組んでいる	① 高齢者とその家族が、権利や尊厳が守られ、必要な時に必要な支援が受けられている	安心して暮らせる地域へ 私たちの活動を通じて支援を行う ① 民生委員と同行訪問し、チラシ等を配布する。気軽に相談できる窓口として知ってもらう。（R9年までに全地域を訪問する。） ② 健康フェスタへの参加。行政・民生委員と情報共有し、必要な方へ個別訪問する。 ③ ケアプラン点検は随時参加する。 ④ 虐待ケースは迅速丁寧に対応する。成年後見制度の必要なケースも関係機関と連携してつなげる。 ⑤ 成年後見制度・意思決定支援等の研修・勉強会に積極的に参加する。
	2. 介護等が必要になったときも安心して暮らせている	本人の意思に基づきいきいきと社会参画している 権利や尊厳が守られている 介護等の必要なサービスを安心して利用できている 介護に従事する人材が、いきいきと働ける環境づくりが進んでいる 誰もが互いに協力しあい、共に暮らす地域社会が築かれている 認知症の人や家族が安心して生活できている 安心して地域生活が継続できる見守りの環境が整備されている	② 高齢者一人ひとりが、介護予防や認知症についての理解を深めることで、主体的に健康づくりに取り組んでいる ③ 高齢者支援に関わる人等が、それぞれの役割を果たしながら協力できている ④ 地域に暮らす一人ひとりが、お互いに支え合うことができている	生涯楽しめる地域へ ⑥ 地域の老人会やサロン、出張講座を通じて介護予防に関心を持ってもらう。健幸すぽっとを案内し、介護予防につなげる。 ⑦ なかの邸カフェをオレンジルームと協働して毎月開催し、認知症の方の居場所づくりをすすめる。 ⑧ 認知症ネットワーク会議の参加と情報共有。『どんどん認知症をカミングアウトできる地域を目指す』 いつでも伴走できる包括を目指す ⑨ コミュニケーションを密にして高齢者に携わる人たちが一人で考え込まずに気軽に相談できる。 ⑩ 毎月地域ケアマネジメント会議を開催し、関係機関と情報共有し助言をもらう。 ⑪ ケアマネジャー・地域の関係者等より、スムーズに解決できない課題などを関係機関に参加してもらい多職種と情報共有し望む暮らしの実現のために地域ケア個別会議を開催する。 ⑫ 業務効率向上のためICTを活用する。（議事録作成など） 安心できる地域づくり ⑬ 地域ケアマネジメント会議や地域ケア個別会議から課題を抽出し、地域課題を見つける。関係機関や地域住民と情報提供して解決策を考える。個別会議で出た課題を並べた際、共通の課題を抽出して地域ケア推進会議にあげていく。（年1回） ⑭ 毎月民生委員の定例会に出席し、お互いの活動を知って情報交換し、地域の高齢者を知る。 ⑮ 高齢者の居場所作りに協力し、地域の啓発活動を行う。 ⑯ おでかけあんしん見守り事業の啓発活動を行うとともに、搜索模擬訓練に協力する。